

**歴史文化保存展示施設専門検討委員会 第3回活用部会  
意見要旨《発言順》**

報告(1) 浜田市子育て支援センターとのヒアリングについて		
No.	内容	
1	意見・質問	<p>現状が確認できてよかった。開館後、連携できる可能性を探っていけばよいと考える。</p> <p>現在の子育て支援センターと世界子ども美術館は連携を図っているのか。</p>
	回答	<p>現状では連携していない。</p>
2	意見	<p>歴史文化保存展示施設の開館時は多忙と思われるが、オープン時に何かしらのイベントをしたほうが、今後の連携もスムーズになると思う。</p>
3	意見	<p>世界子ども美術館との連携は行っていないが、子育て支援センターの意見の中には、おむつ交換場所などハード面でも難しいところがある。今後、この意見をベースにできる範囲を詰める必要がある。</p> <p>また、乳幼児に、郷土の歴史などの歴史展示を関わらせる必要があるのだろうか。大人の考えのようにも思える。</p>
4	意見	<p>乳幼児が歴史展示を見て興味を抱くのは難しく、このため連携事業も難しいと思う。ただ、石見神楽などはコンテンツとしての可能性を持っているとも思われ、手探りで考えていく必要がある。</p>
5	意見	<p>科研費により乳幼児の心理的発達に関わる美術館における鑑賞プログラムの分析を実施した経験がある。この中で、乳幼児でも美術館における色や形といった造形要素や音声、周知の人的刺激などに反応があった。また、大きくなった際に、このような過去の経験や記憶と刺激を関連づけている可能性もあり、乳幼児も対象として考えていきたいという希望がある。</p>
6	意見	<p>子育て支援センターとのヒアリングにおいても、展示への反応は難しいとの話であったが、神楽囃子の音声など五感への刺激は有効という意見もあった。</p>
報告(2) タブレットの活用事例について		

No.	内容	
1	意見	<p>事前学習後に現地見学という流れは重要である。浜田市では小学校3年生向けの副教材を作成しており、教材改定時に展示内容を盛り込めれば良いと思う。</p> <p>また学校と学芸員の連携を図る機会が重要である。</p>
2	意見	<p>展示スペースは限られると思うので、QRコードなどを用いて周布古墳や石見畳ヶ浦の映像が見られたら良いと思う。スマートフォン対応とすれば、一般の方も利用できる。</p>
3	意見	<p>鳥取県が「とっとりデジタルコレクション」を運用し始めた。これからはこのような分野が重要視されていくだろう。</p>

### 議題(1) 歴史文化保存展示施設で行う活動内容について

No.	内容	
1	意見・質問	<p>先が読めるスケジュールを提示いただいた。4点質問がある。</p> <p>①調査研究活動の内容について</p> <p>②ふるさと工作活動が年5回、ふるさと講座が年6回と月1回の活動頻度が適切かどうか。</p> <p>③教材提供活動の内容について</p> <p>④すくすくふるさと講座の対象について</p>
	回答	<p>①寄贈資料の調査研究が主となり、その成果が企画展などに取り入れられると思われる。</p> <p>②他事例では月1回のペースで講座を開いている施設はある。館の方針により、ボリューム差はあってもよい。</p> <p>③学校と連携し、授業で活用できる教材の開発などを想定。</p> <p>④子育て支援センターの利用者のみではなく、浜田市全体の乳幼児などを対象と考えている。</p>
2	意見	<p>子どもを対象とする活動には、下準備が相当必要であり、また学校との綿密な打ち合わせの必要である。</p> <p>挙げてある活動内容のボリュームは多大であり、学芸員への負担は避けられない。このため優先順位を決める必要がある。</p>
3	意見	<p>この活動内容のボリュームは、学芸員1名では無理である。</p>
4	意見	<p>ふるさと学習活動の時期については、学校によって考え方が異なるので、幅を持たせたほうがよい。また、3年生と6年生の授業で利用できれば、16校よりも増える可能性もある。</p>

5	意見	<p>展示規模・人員・予算に限られるため、より効率的な活用を目指すためには、メインターゲットの設定が重要である。</p> <p>また、学校の受け入れ時期などのスケジュールについても、各項目を見極めたうえで設定する必要があるだろう。</p>
6	意見	<p>中学校に関しては、カリキュラムの関係で足を運びにくいと想定していたが、通史展示が充実していれば、歴史学習の事前及び事後利用も考えられる。</p>
7	意見	<p>歴史文化の内容は多種多様であり、すべての内容の活動を実施するのは無理がある。このため、活動に関してもその分野を絞るべきである。</p>
8	意見	<p>企画展のスケジュールを見ると、年3回実施で各間が1ヶ月しかない。これは学芸員への負担が多大であり、企画展示の位置づけも見直す必要がある。開館時は常設展示だけでも大変であり、初年度に企画展示も実施するのは難しいと思われる。</p>
9	意見	<p>業務のボリュームは大きいと思われ、調整する必要がある。</p>
10	意見	<p>学芸員1名での対応は厳しいと思う。</p>
11	質問	<p>メインターゲットの設定についてうかがいたい。</p>
12	意見	<p>メインターゲットは小学生であるが、市民への対応も大事である。メインターゲットから漏れる対象については、アプリなどのソフト面で対応ができたらと思う。</p>
13	意見	<p>小学3・4年生がメインとなろう。メインターゲット外には、ガイドブックや図録などでの対応も考えられる。特にワークシートなどは小学5年生向けを想定して作成すれば、難易度についても全般的なものになる。映像などのコンテンツに関しても、同様である。</p>
14	意見	<p>小学生が中心でよいが、市民への目配りも大切。さらに乳幼児についても考えたいと思っており、乳幼児は親や祖父母も巻き込めるので、集客効果もある。</p>